

#おだかぐらし通信

2024年3月発行
第17号 小高区地域振興課
おだかぐらし担当
TEL: 0244-44-6716

おだかぐらしプロモーション

小高中学校とのタイアップ



審査投票をする生徒さんたち

“おだかるブックカバー”をつくり、フォトコンテストを実施。コンテストの審査員は、なんと**小高中学校 全学年のみなさん!**生徒一人一人が、小高の一員として真剣に審査投票に参加してくれました。生徒からは、“小高の伝統や文化をおだかるを通してもっといろいろな人に知ってもらいたい”“話を聞いて、今よりもっと小高が好きになりました。時間があいてるとき、小高のことを調べてみようと思いました。”などの感想をもらいました。

おだかるぴーぐる

令和5年度は全15名のおだかるぴーぐるをご紹介します!

動画の全編は「おだかるぴーぐる」で検索、または下記からご覧ください!!



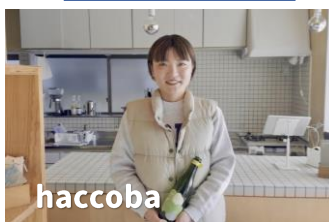
おだかる
ぴーぐる



I LOVEファーム小高

吉田一貴さん

五十嵐茜さん



haccoba



十割そば こごと

小牛田一男さん

地域のお世話人

移住前後の不安を軽減させるため、「地域のお世話人」×「移住検討者」がオンラインで対談をしました。

～ お世話人と利用者からの声 ～

地域のお世話人 小林さんより

対面だと緊張するけどオンラインだったので気軽にお話できました!今度はKさんご家族が小高に来た際に直接お話ししたいと思います!

Kさんより

ネット上の情報では限界があり、直接、生活する方の声を聞いて良かったです!移住後の生活も楽しみです、何より、同じ子育て世代がいることが心強いです。

オンライン相談
スタートしました!



利用・問合せ
フォームは
こちらから!



初のオンライン実施!

小高のアレコレ

小高駅利活用

営業時間: 12:00~19:00
定休日: 月曜日



詳細は
こちらを
チェック!

※3月はプレオープン期間のため、営業日時に変更があります。

JR「小高」駅の駅舎を活用し、haccobaが醸造所とパブリックマーケット(略して“パブマ”)を開業しました。地域内外の人が交流できる場所を目指し、営業を開始するとのことです!ぜひ皆さんも足を運んでください!

小高駅でしか買えないグッズやこれからは地元の高校生とも連携しながら小高区の地域活性化を行っていきます! (佐藤太亮 より)



可愛い文房具もあります!



変わりゆく景色

2013年の暮れに学習支援のボランティアがきっかけで、初めて小高を訪れました。愛知県で生まれ育ち、東北に縁がなかった私はその時まで、恥ずかしいほどに福島や小高の様子を知らずにいました。避難指示が出てがらんとした通りで、信号だけが寂しく点滅していた町並みを今もよく覚えています。



小高川親水公園の桜並木の下で

その日から5年が経つ頃、私は結婚をして南相馬市に引っ越し、小高で働き始めました。駅前通りで始まったコーヒースタンド・オムスビで、ドリンクを手渡ししながら、お客さんと話をする日々。町を歩く人の姿はやっぱりまばらだったけれど、なんでもない世間話が弾むと、新しい生活がたしかに始まっていると感じました。人の気配は、町の空気をやわらかくするように思います。お店の明かり、車が走る音、庭に咲く花や畑で育つ野菜たち。

桜並木に続く橋の工事が終わり、2022年の春に初めて足を運びました。以来、毎年写真を撮りにいっています。両側から桜が咲き誇り、まるで大きな1本の桜のようです。

暮らしたり、働いたりする人たちがいるからこそ見える景色と聞こえる音に、一人で何度顔をほころばせたことでしょうか。不思議なことに、季節の花々にもよく気づくようになって、春はいっそう待ち遠しいです。

南相馬に来て、さらに5年が経って、私は小高で暮らすようになりました。学生だった私は一見の母となり、時の経過を感じずにはいられません。この間に、ご飯を食べられる場所の数は両手じゃ収まらないほどになり、食べる場所を選べるようになりました。フルハウスや図書館では、本との偶然の出会いが楽しめるようになり、読書好きとしては嬉しいです。



桜のふもとに咲く、野花もかわいらしい。

近くで暮らす人たちの顔もよく見えるようになりました。10年前、誰の顔も、姿も浮かばなかった町は今、私にとって思い浮かぶ人の数が一番多い町になりました。これからどうぞ、よろしく願いいたします。



おだかぐらし通信を読んでいただきありがとうございました！
直接、記事の感想を伝えていただくこともあり、とても嬉しかったです。
次回もよろしくお願いいたします。（書き手：蒔田志保）



おだかぐらし担当より

次回は、第18号/5月15日です

市内の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます🌸
これからそれぞれのステップを踏み、大きく羽ばたくでしょう。
みなさんの活躍を心から応援しています！頑張ってください！！

南相馬市では、東北初の子育て制度「巣立ち応援18歳祝い金支給事業」を実施しています。「地域のみんなで18歳の巣立ちを応援したい。」そんな思いからスタートした制度です。応援メッセージもご覧ください！



制度の詳細はこちら！



R5年度 さあ、行っといで。応援メッセージ動画



さあ、行っといで。

ポスターモデルの高校生たち
(相馬農業高校)